

## 令和7年度事業計画書(案)

令和7年4月1日から  
令和8年3月31日まで

### I 基本方針

以下の5項目について実行に移していきます。

1. 書写書道誌『若越習字』の改善
2. 研修の充実と会員の資質向上
3. 組織の見直し
4. 会計の見直し
5. 事業の公益性の拡大

### II 実施計画

#### 1. 書写書道誌の発行及び競書に関する事業

##### (1) 書写書道誌の発行

県民の書写書道に対する理解と関心を深め、その技能の向上を図るため、書写書道誌『若越習字』を引き続き次のとおり発行する。

- 〈発行部数〉 目標＝毎月3,300部
- 〈発行日〉 毎月25日
- 〈体裁〉 A4版 72頁仕立
- 〈内容〉
  - ・競書課題
  - ・書の鑑賞
  - ・書の理論と研究
  - ・書への関心・理解啓発
  - ・成績発表

##### (2) 競書事業

出品者相互の競書による技能の向上と創造力の涵養に資するため、上記『若越習字』で募集した作品を引き続き審査し、その結果を同誌で発表する。

- ①月例作品 応募数 目標＝毎月平均 6,500点
- ②昇段級試験作品 応募数 目標＝春季・秋季 各 4,500点

#### 2. 書写書道作品の展示発表及び書写書道教育の振興に関する事業

##### (1) 展示発表事業

一般書道愛好者及び会員の日頃の創作・研究成果について広く県民に発表することにより、県民の書写書道に対する理解と関心を深めるため、引き続き次のような展覧会等を行う。

- ① 第54回若越書道会展
  - ・開催時期 令和7年10月3日～5日
  - ・開催場所 福井県立美術館

- 展示内容 会員展 公募展
- ② 第2回若越習字誌上展
  - 作品公募締切 令和7年7月31日（8月3日審査）
  - 入賞作品の誌上発表 『若越習字』10月号

(2) 書写書道教育振興事業

県内児童・生徒に対する書写書道教育の振興を図るため、引き続き次の事業への協力、支援を行い、また、書道教育向上のための研究誌の発行等を行う。

- ① 県かきぞめ競書大会（第90回）共催
  - 実施期間 令和8年1月
  - 応募作品 目標=60,000点
- ② 福井県書写書道教育研究会（後援）
  - 第57回福井県書写書道教育研究大会（二州大会）
    - 〈開催期日〉 令和7年10月30日(木)
    - 〈実施会場〉 敦賀市立角鹿小中学校
  - 第74回福井県児童生徒競書大会競書展
    - 〈開催期間〉 令和7年7月19日～21日
    - 〈開催会場〉 美浜町生涯学習センター なびあす
    - 〈応募作品〉 目標=60,000点
  - 書写・書道研究誌の発行

3. 書写書道研修会、講演会の開催

一般書道愛好者及び会員の書写書道に関する技能及び知識等の向上を図るため、引き続き必要な研修会、講演会を次のとおり開催する。

(1) 研修会の開催

- ① 書道実技講習会 臨書講座
  - 実施回数 年1回
  - 研修内容 古典臨書の仕方
  - 講師 本会正会員（役員）
  - 参加対象 一般希望者及び会員
- ② 書道実技講習会 創作講座
  - 実施回数 年2回
  - 研修内容 漢字・仮名条幅創作法 1回  
漢字仮名交じり半紙・条幅創作法 1回
  - 講師 本会正会員（役員）
  - 参加対象 一般希望者及び会員
- ③ 書道実技講習会 手本の書き方講座
  - 実施回数 年1回
  - 研修内容 小・中学校毛筆・硬筆手本の書き方
  - 講師 本会正会員（役員）
  - 参加対象 一般希望者及び会員
- ④ 書道教養講座
  - 実施回数 年1回
  - 研修内容 書に関する一般常識・教養

- 講師 本会正会員（役員）及び外部講師
- 参加対象 一般希望者及び会員

⑤ 新同人研修会

- 実施回数 年12回
- 研修内容 書論, 書道史, 創作論, 鑑賞論, 審査実務等
- 講師 本会正会員（役員）
- 参加対象 新同人会員

(2) 講演会の開催

- 開催期日 令和7年5月11日 15:30~17:00
- 開催会場 福井県中小企業産業大学校 大教室
- 講師 若越書道会常任顧問 増永 楊蘭氏
- 参加対象 一般希望者及び会員

4. 各種文化事業への協力

本会と密接な関係にある文化・書道団体等との連携を深め、本会事業の円滑な運営をはかるため、引き続き下記の事業に支援・協力もしくは参加を行う。

- ① 福井県書作家協会関係
  - 福井県現代書作家展
  - 福井県書道展
  - 福井県小中学生書道展
- ② 福井県文化協議会関係
  - 各種文化事業参加
- ③ 福井県総合美術展





科 目	書写及び書道に関する事業										法人会計	内部取引 控除	合 計
	書道誌発行事業	競書事業	展示発表事業	教育研究事業	研修会事業	講演会事業	共 通	小 計					
委託費	300,000	310,000	250,000				0	860,000					860,000
会議費		400,000	65,000					465,000					465,000
②管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	6,112,000	0			6,112,000
給料手当								0	2,300,000				2,300,000
退職給付費用								0	320,000				320,000
福利厚生費								0	230,000				230,000
会議費								0	200,000				200,000
通信運搬費								0	410,000				410,000
消耗什器備品費								0	202,000				202,000
消耗品費								0	400,000				400,000
印刷製本費								0	350,000				350,000
表彰費								0	290,000				290,000
広告宣伝費								0	380,000				380,000
賃借料								0	530,000				530,000
支払負担金								0	410,000				410,000
支払助成金								0	30,000				30,000
雑費								0	60,000				60,000
経常費用計	13,400,000	8,090,000	1,445,000	2,900,000	125,000	60,000	3,420,000	29,440,000	6,112,000	0			35,552,000
当期経常増減額	△ 5,100,000	510,000	△ 1,215,000	△ 2,600,000	△ 77,000	△ 60,000	△ 3,420,000	△ 11,962,000	14,128,000	0			2,166,000
他会計振替額							12,000,000	12,000,000	△ 12,000,000				0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 5,100,000	510,000	△ 1,215,000	△ 2,600,000	△ 77,000	△ 60,000	8,580,000	38,000	2,128,000	0			2,166,000
法人税、住民税及び事業税								0	80,000				80,000
税引後当期一般正味財産増減額	△ 5,100,000	510,000	△ 1,215,000	△ 2,600,000	△ 77,000	△ 60,000	8,580,000	38,000	2,048,000	0			2,086,000
一般正味財産期首残高							360,373	360,373	54,850,643				55,211,016
一般正味財産期末残高	△ 5,100,000	510,000	△ 1,215,000	△ 2,600,000	△ 77,000	△ 60,000	8,940,373	398,373	56,898,643	0			57,297,016
II 指定正味財産増減の部													0
①受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
受取助成金								0	0				0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
一般正味財産への振替額								0	0				0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
指定正味財産期首残高								0	0				0
指定正味財産期末残高	△ 5,100,000	510,000	△ 1,215,000	△ 2,600,000	△ 77,000	△ 60,000	8,940,373	398,373	56,898,643	0			57,297,016
III 正味財産期末残高													0

## 令和7年度 会費の額(案)

区 分	月 額	年 額	備 考
会 員	4,000円	—	毎月5冊の誌代を含む
賛助会員	—	18,000円 (一口)	一口当たり毎月1冊の誌代を含む

※誌代1冊 600円

※会費は年度内に納入のこと